



太陽

〒961-8071

福島県西白河郡西郷村大字真船字芝原 151-1

TEL 0248-25-3110

FAX 0248-25-5087

https://nishigo-sh.fcs.ed.jp/

「力を合わせて子どもたちを守る」

10年前のあの日、私たちはそれまでに経験したことのない大地の揺れとそれに伴う大津波、本県では、原子力発電所のメルトダウンという未曾有の災害に襲われました。今なお、たくさんの方がふるさとを離れた生活を余儀なくされています。当時、富岡町夜ノ森の桜並木が新聞の一面にカラーで掲載されたことがありました。誰もいない風景は、美しく咲き誇る桜並木との対比で、寂しさを余計に強調し、胸が熱くなりました。汚染水の問題やデブリ取り出しの問題など、課題が山積していますので、風化させないようにしていきたいと思います。

そして、今……。私たちはコロナ禍に見舞われています。「新しい生活様式」の下、保護者の皆様、学園の

先生方、何よりも子供たちにたくさんの我慢をお願いし、大変なご負担をおかけしております。収束はいつになるのか、ワクチン接種は、オリンピック・パラリンピックはどうか等々、不安は尽きません。コロナ禍は、私たちの弱いところを突いてくるといわれます。今、私たちが手探りしながら取り組んでいることが、数年後に振り返ったときにいい取組でしたと言えるよう関係者が力を合わせて、子供たちを守り抜いてこのコロナ禍を乗り越えていきたいと思います。



校長 阿部和行

地域支援センターにしの郷

今年度の活動を振り返って

地域支援センターにしの郷では、「地域の園や学校への相談支援・研修支援」「地域の関係機関との連携」「来校や電話による教育相談」「校内の支援会議」「特別支援教育研修会の開催」などを行いました。これからも、校内、地域の方が安心して相談できるようなセンターを目指して、取り組んでいきたいと思います。お子さんの発達のこと、学校生活のこと、家庭生活のことなど、ご相談の希望があればいつでもお問い合わせください。

地域支援センターにしの郷は、西郷支援学校に設置されています。子どもの困り感を一緒に考え、支援策を考えていきます。ご希望があればいつでもお問い合わせください。

相談専用ダイヤル：080-7182-0863
(平日9:00~16:00)



今年度の特別支援教育研修会は「学校と家庭、関係機関との連携を通じた保護者との関わり」をテーマに、独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター主任研究員 柳澤 亜希子先生を講師として、リモートでの開催となりました。本校職員、外部からの参加者とともに、柳澤先生のお話を聞き、多くの学びを得ることができました。

令和2年度 福島県立西郷支援学校
地域支援センター特別支援教育研修会
「学校と家庭、関係機関との連携を通じた保護者との関わり」

日時 令和2年12月25日(金) 10:15~12:00
(受付 10:00~)

会場 福島県立西郷支援学校
(〒961-8071 福島県西白河郡西郷村大字真船字芝原151-1)

内容 講演会 ※リモートで実施
講師 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター主任研究員
柳澤 亜希子 氏

小学部



ゆうびんやさんになろう



小学部2・3年8・9組の児童7名が生活単元学習の時間に『ゆうびんやさんになろう』と題してはがきの書き方や、郵便物がどのように集められ、届けられるのかという郵便の仕組みについて学習し、小さな郵便屋さんになって小学部の学級に手紙を届ける活動をしました。また、学習のまとめとして子どもたちが書いた年賀状を学校の近所のポストへ出しに行きました。後日、年賀状が家に届いたことを嬉しそうに話してくれました。



修学旅行にいきました！

11月13日(金)に小学部6学年8名で、いわき市にあるスパリゾートハワイアンズに修学旅行に行ってきました。修学旅行に向けてフラダンスや施設内の約束等の学習をしてきた子どもたちは、少し緊張した様子でバスに乗り込みましたが、到着すると一気に笑顔になり、とても嬉しそうでした。流れるプールやスライダーでは、友達や先生と一緒に楽しむ様子が見られました。

昼食は、事前に選んだメニューを自分で頼んで、ラーメンやフライドポテトなどをみんなで食べました。フラダンスショーは大迫力で、音楽に合わせて体を揺らしたり、踊りを真似したりしながら集中して見ていました。大満足で全員元気に帰校することができました。子どもたちのたくさんの笑顔が見られた1日となりました。



レッツ！ 作業対決

川谷中学校との交流会



11月27日(金)に西郷村立川谷中学校との交流会が本校で行われました。今年の交流タイムは、コロナウイルス感染症予防の観点から、少人数のグループを編制し、生徒たちが取り組んでいる「作業学習(自立活動)」を取り上げ、作業工程ややり方の説明を生徒たちが行い、川谷中学校の生徒と一緒に取り組む内容としました。説明では、緊張しながらも、堂々とやり方を発表したり、分からない友達に丁寧に教えたりする姿が見られました。

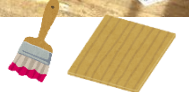


中学部



1月25日から29日まで作業学習だけに取り組む後期の校内実習がありました。日頃の作業学習で身に付けた丁寧な製品作りや長い時間継続して取り組むことができる集中力を生かし、班ごとに協力しながら実習に臨みました。前期と比べ、高い目標を立てて作業に取り組む生徒たちの姿が印象的でした。今後の作業学習も頑張ってください。

後期校内実習



高等部



12/8 (火) 12/9 (水)

中学部 作業成果品紹介 高等部 作業製品販売会

ヨークベニマルメガステージ白河店のご協力をいただいて、中学部の「作業成果品紹介」、高等部の「作業製品販売会」を行いました。今年度は、残念ながら、生徒たちの手で販売することは叶いませんでしたが、気持ちを込めて作った製品を地域の方々に直接手に取って見ていただき、たくさん購入していただくことができました。



産業現場等における実習

高等部では、年に2回、企業や事業所のご協力のもと産業現場等における実習を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により前期実習は実施できませんでしたが、後期実習と3年生による特別実習を行いました。後期は42名の生徒が実習をさせていただき、事業所の様子を知ったり実際の職場で働く体験をしたりすることができました。働くために必要な力や、自分自身の今後の課題について学ぶ機会となりました。

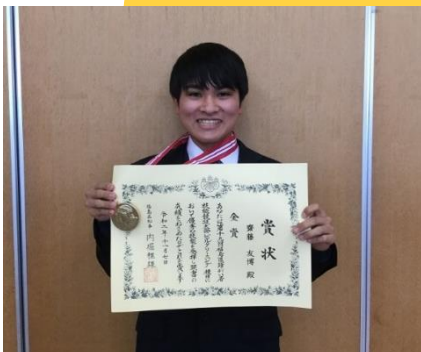


表彰

アビリンピック、書初め フライングディスク



11月7日(土)に行われました、第19回福島県障がい者技能競技大会(ふくしまアビリンピック2020)のビルクリーニング種目に、高等部2年の齋藤友博さんが出場し、見事「金賞」(1位)を受賞しました。ダスタークロスやモップの技術はもちろんのこと、全体的な動きや大きな声での挨拶・確認が高く評価されました。



12月20日(土)に「第4回フライングディスク交流大会~弘大杯~」が青森県・岩手県・西郷支援学校体育館の3箇所をリモートで行われました。

弘前大学附属特別支援学校の主催で本校から4名参加しました。リモートでの大会は、みんな初めてでドキドキしていましたが、練習通りにしっかりと投げることができました。

小学部 櫻木 陽太 銅メダル

中学部 佐川 結美

田口 愛菜

高等部 高根沢 亮喜 銅メダル

第65回 福島県書きぞめ展において、西郷支援学校が、「奨励学校賞」を受賞しました。



西郷支援学校 卒業生特集

小学部

あっとりうまの6年間
楽しかったしやぶくりよこら
おきやくさんがたくさん
みにきてくえたやしあ衆
おとらさんとおオあさんオみにきて
くれこきんちょうしたじゅぎょうせんかん
ぼくたち わたしたち
こんなに大きくなりました

小学部でも がんばります



☆中学部☆



☆中学部でのたくさんの思い出を胸に☆

☺一笑懸命☺がんばります



21人で力を合わせて、宿泊学習や修学旅行で様々な体験をしたり、やしお祭を盛り上げたりすることができました。西郷支援学校での経験や思い出を胸に、これからそれぞれの進路先で頑張っていきたいと思います。先生方大変お世話になりました。ありがとうございました。そして在校生のみなさん、これからも西郷支援学校を盛り上げていってください。

高等部

